

令和6年度 学校評価報告書 【大洲市立三善小学校】

教育目標『ふるさと三善を愛し、豊かな心で力いっぱい夢にチャレンジする三善っ子を育てる』

- 経営の重点
- 他人を思いやる心、感謝する気持ちを大切にし、チャレンジする心、豊かな人間性を育む教育の推進
 - 小規模校の特性を生かし、一人一人の個性や創造性を伸ばす教育課程の実施
 - 教職員の資質・能力の向上と、児童の基礎・基本の確実な定着および確かな学力の向上、郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成
 - 児童と教職員の温かい人間関係構築と、明るく主体的に活動する児童の育成
 - 学校・家庭・地域が一体となり、三善地区の伝統とよさを生かしつつ、社会の新たなニーズに柔軟に対応できる学校づくり

[評定 A：順調 B：概ね順調 C：あまり順調でない D：順調でない]

区分	具体的項目	取組・評価結果	○成果 ●改善	評価委員の意見	評定
教育課程・学習指導	○基礎学力の定着のための個に応じた指導と支援	○複式学級に適した授業改善（算数科の授業公開を実施し研修する。） ○ICT機器（タブレット端末）の積極的な活用 ○補充学習「ハルニレ教室」の実施	○複式学級の授業実践や研修を通し、授業改善を図った。 ○補充学習の実施により、基本的事項の習得やタブレット端末操作の手順等、指導の充実につながった。 ○「授業がよくわかる」と回答した児童は96%である。 ●改善傾向ではあるが家庭での読書量がまだ十分とは言えず、読書の充実への取組を継続する。	・複式学級なので児童がどのくらい学習内容を理解しているのかを把握するのが難しいと思うが、先生方に頑張ってもらいたい。 ・学習の楽しさを児童が感じるためにも、補充学習でサポートしてほしい。 ・読書活動がおろそかにならないように学校と家庭で連携して取り組んでほしい。	A
	○学習習慣の定着と意欲化を図る学習環境の整備	○基礎的な問題を出題した月末テストの実施 ○「読書ノート」による読書活動の充実 ○地域のボランティアによる「読み聞かせ」の実施			
生徒指導	○いじめ・不登校の防止対策	○月1回の「ふれあいアンケート」の実施によるいじめ等の予防と早期発見・対応 ○全教員による教育相談「あのねタイム」の実施による児童の悩みの把握と早期対応 ○「大洲市のきまり」や「夏休み・冬休みのくらし」を活用した生活指導の徹底	○子どもの悩みをいち早くキャッチすることにより、いじめの予防につながった。 ○「学校が楽しい」と回答した児童は100%である。 ○縦割り班による活動の実施 ○なかよしの花（人権の花）運動を実施し、人権意識の高揚を図った。 ●「先生たちは相談にのってくれる」と回答した児童は92%であった。相談しやすい環境づくりを図る必要がある。	・どの項目も評価が高くすばらしい。 ・児童はいつも気持ちの良い挨拶ができています。 ・みんな楽しく学校生活を送ることができているようなので安心していきます。 ・小規模校の良さを生かして教育に取り組んでほしい。	A
	○保護者・地域の教育力を生かした健全育成	○PTA役員会における「はぐくみ委員会」の開催 ○コミュニティセンターへのあいさつ標語の応募			
		児童の肯定的評価（87%） 保護者の肯定的評価（84%） 教職員の肯定的評価（100%）			
		児童の肯定的評価（98%） 保護者の肯定的評価（98%） 教職員の肯定的評価（100%）			

健康・安全管理	<p>○基本的な生活習慣の育成</p> <p>○児童・教職員・保護者・地域の安全に関する意識の高揚</p>	<p>○健康観察の確実な実施と、児童の健康状態の把握</p> <p>○フッ素洗口の実施と歯磨き指導の工夫</p> <p>○健康教育参観日の実施</p> <p>○中学校区合同保健委員会による防災教育の推進</p> <p>○避難訓練と引き渡し訓練の実施</p> <p>○毎月10日に行う安全点検と教職員による修繕と業者への修繕連絡</p> <p>○来校者に対する積極的な声掛け</p> <p>○大洲市危機管理課と連携した避難所の設置</p>	<p>○児童の健康状態を把握し、情報共有することで、体調の変化にも対応できた。</p> <p>○保健集会を実施し、健康増進についての理解を深められた。</p> <p>●ゲームや動画視聴の時間を自分で考えて調節できるような手立てが必要である。</p> <p>○地域と連携した避難訓練を実施できた。</p> <p>○PTAや地域の協力により登校中の安全確保ができた。</p> <p>●緊急時にきちんと対応できるよう引き渡し訓練の内容を見直す必要がある。</p>	<p>・生活習慣については、家庭に対する働き掛けが必要である。</p> <p>・ゲームや動画視聴に依存する子供が増えているニュースをよく聞く。節度ある生活を心掛けてほしい。</p> <p>・地域の施設で遊ぶときはマナーを守って、けがをしないように遊んでほしい。</p> <p>・児童のためにも引き続き、安全点検に取り組んでください。</p>	A
保護者・地域との連携	<p>○保護者・地域の諸団体と連携した児童の健全育成</p> <p>○各種通信、ホームページ等を通じた情報の発信</p>	<p>○地域の教材や人材を生かした体験活動等の充実</p> <p>○PTAが運営する「みよし体験塾」の実施</p> <p>○保護者や地域による登校の見守り活動</p> <p>○学級通信や校報等での定期的な情報発信</p> <p>○毎日のホームページ更新による児童の様子を紹介</p> <p>○児童の地域行事への参加の呼び掛け</p>	<p>○学校行事や総合的な学習の時間に地域の方々から多くのことを学ぶことができ、郷土愛や感謝の気持ちを育むことができた。</p> <p>○学校の取組や児童の様子を積極的に発信することにより、保護者や地域の理解と協力を得られた。</p> <p>○ホームページの更新を毎日行うことにより、最新の情報を発信することができた。</p> <p>●地域行事に積極的に参加している児童の割合が68%と低い。児童だけでなく家庭への働き掛けも地域と協力して行っていきたい。</p>	<p>・地域行事に児童が参加しやすくするために地域としても考えていく。</p> <p>・地域在住の外国人の方との交流の場を増やしてはどうか。</p> <p>・世帯数が減少しているが、学校・家庭・地域で協力しながら児童を育てていかなければならない。</p>	A
その他	<p>○ゆとりと信頼感のある温かい職場づくり</p>	<p>○定時退勤日を設定し、勤務時間を意識することで、ワークライフバランスの充実を図る。</p> <p>教職員の肯定的評価（100%）</p>	<p>○超過勤務時間の改善が児童への効果的な教育活動につながっている。</p>	<p>・できることがあれば地域でも協力していきたい。</p>	A
総括	<p>多くの項目で高い評価を得ており、おおむね良好である。今後も教育目標の実現に向けて、全教職員で学校教育を推進していきたい。今回の評価で課題となった「読書活動の充実」、「望ましい生活習慣」「地域行事への積極的な参加」を改善しながら「三善っ子」の育成に取り組む必要がある。</p>				